



『惠信尼消息』を参考に、
御夫婦の美しい信仰生活を
描きました。

宗祖と惠信尼公

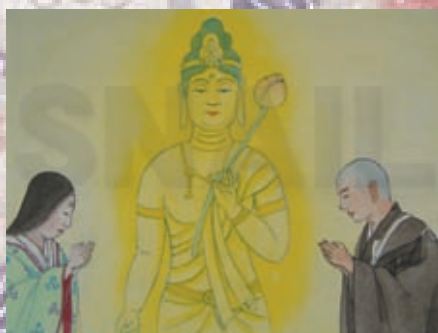
『惠信尼消息』をもとにして、親鸞聖人と惠信尼さまが
体験された「夢告」にスポットをあて、お二人が敬愛の
お心で生活をされ、『教行信証』をお書きになり、京都
に帰られるまでを描いた作品です。

●二人の夢
親鸞聖人が二十九歳の時、比叡の山を下り、「生死いずべき道」を求め、都にある六角堂に百日参籠されておられました。九十五日目の明け方、夢の中に救世菩薩が聖僧の姿で現われ、聖人に告げられるには、「行者宿報設女犯、我成玉女身被犯、一生之間能莊嚴、臨終引導生極楽」と、夢のお告げを頂かれ、救世菩薩のご化身が現れたのでした。玉女とは惠信尼さまのことです。

●二人の夢
親鸞聖人が二十九歳の時、比叡の山を下り、「生死いずべき道」を求め、都にある六角堂に百日参籠されておられました。九十五日目の明け方、夢の中に救世菩薩が聖僧の姿で現われ、聖人に告げられるには、「行者宿報設女犯、我成玉女身被犯、一生之間能莊嚴、臨終引導生極楽」と、夢のお告げを頂かれ、救世菩薩のご化身が現れたのでした。玉女とは惠信尼さまのことです。

●二人の夢
親鸞聖人が二十九歳の時、比叡の山を下り、「生死いずべき道」を求め、都にある六角堂に百日参籠されておられました。九十五日目の明け方、夢の中に救世菩薩が聖僧の姿で現われ、聖人に告げられるには、「行者宿報設女犯、我成玉女身被犯、一生之間能莊嚴、臨終引導生極楽」と、夢のお告げを頂かれ、救世菩薩のご化身が現れたのでした。玉女とは惠信尼さまのことです。

●二人の夢
親鸞聖人が二十九歳の時、比叡の山を下り、「生死いずべき道」を求め、都にある六角堂に百日参籠されておられました。九十五日目の明け方、夢の中に救世菩薩が聖僧の姿で現われ、聖人に告げられるには、「行者宿報設女犯、我成玉女身被犯、一生之間能莊嚴、臨終引導生極楽」と、夢のお告げを頂かれ、救世菩薩のご化身が現れたのでした。玉女とは惠信尼さまのことです。



参考図書／惠信尼さま 大谷嬉子 本願寺出版社・惠信尼文書の考究 梅原真隆・親鸞とその門弟 正統 宮崎園遊
親鸞集 名畑応順 多屋頼俊・惠信尼公 藤島達朗 法蔵館・惠信尼物語 蒲原霊英・親鸞とその家族 今井雅晴 自照社出版
妻惠信尼からみた親鸞 山崎龍明 NHK出版・真如の月 木村学司
絵／小早川好古 ナレーション／広沢はる美 台本／すねいるシナリオ工房 発行者／久保尚志

◆通販お申込は 電話・FAX・郵便はがき・
メール・インターネットで？

075-343-0240

制作・著作・発売元

インターネットショップ
http://www.snail.co.jp/
メール info@snail.co.jp

仏教伝道教材の

すねいる



宗祖と惠信尼公

発行日 2007年10月10日 26分 定価9,000円 (税抜)